
4
施工場所
令和８年度環境事業センターバグフィルターろ布交換工事
位置図
小田原フラワーガーデン
環境事業センター
堀ケ窪埋立処分場
小田原市斎場
総世寺
八坂神社
熊野神社
下河原橋
上河原橋
又渡橋
子の神橋
ミクニ小田原事業所
久野小学校
久野四号古墳
久野十五号古墳
新久野配水池
日諏訪神社
飯田岡
穴部新田
林道坊所線
建設中

令　和　8　年　度		所長	副所長	副所長	係長	検算	設計	審査

工　事　名	令和8年度環境事業センターバグフィルターろ布交換工事
工　事　場　所	小田原市久野3,768番地

予　算　科　目	款	衛生費	項	清掃費	目	じん芥処理費	節	工事請負費

設　計　金　額	14,476,000　円也
工　事　価　格	13,160,000　円也
工　事　概　要	・4号炉バグフィルターろ布交換　1式 ・暴露防止対策費　1式
備　考	

工事施工方法	請　負	工事期間	契約締結日から　105　日間

本　工　事　内　訳　表

一金　　14,476,000　　円也

費　目	工　　種	種　　別	細　　別	単 位	数 量	単　価	金　　額	摘　　要
本工事費						円	円	
	4号炉バグフィルターろ布交換			式	1.0		8,385,000	別紙内訳書第1号参照
	直接工事費計						8,385,000	

費　目	工　　種	種　　別	細　　別	単 位	数 量	単　価	金　　額	摘　　要
	間接工事費					円	円	
		共通仮設費		式	1.0		337,915	直接工事費×　　4.03　　%
		暴露防止対策費		式	1.0		546,000	別紙内訳書第2号参照
		現場管理費		式	1.0		1,884,370	(直接工事費＋共通仮設費+暴露防止対策費)×　　20.33　　%
		計					2,768,285	
		工事原価計					11,153,285	直接工事費＋間接工事費
		一般管理費		式	1.0		2,014,283	工事原価×　18.06　　%
	工事価格						13,160,000	13,167,568　　円の処万円止
	消費税相当額						1,316,000	工事価格の10%
本工事費計							14,476,000	

４　号　炉　バ　グ　フ　ィ　ル　タ　ー　ろ　布　交　換　内訳書　　第１号

一金　　8,385,000　　円也

工　種	種　目	材　料 労　力	型　状 寸　法	数 量	単 位	単　価	金　額	摘　要
交換工	材料費					円	円	
		ろ布	特記仕様書参照	312	本	20,670	6,449,040	見積り
		点検口用パッキン	特記仕様書参照	1.0	式	491,400	491,400	見積り
		消耗品及び雑材		1.0	式	157,560	157,560	見積り
	材料費計						7,098,000	
	労務費							
		交換工		1.0	式	1,287,000	1,287,000	見積り
	労務費計						1,287,000	
合計							8,385,000	

暴　露　防　止　対　策　費　内訳書　第 2 号

一金　546,000　円也

工　種	種　目	材　料 労　力	型　状 寸　法	数 量	単 位	単　価	金　額	摘　要
		暴露防止対策費		1.0	式	円 195,000	円 195,000	見積り
		処分費		1.0	式	351,000	351,000	見積り
合計							546,000	

仕　様　書

１．　本工事は、市担当者の指示に従い、誠意を持って施工すること。

２．　本工事の作業に従事する者は、ヘルメット等の人目のつくところに血液型を明記すること。

３．　工事完了後は、速やかに残材その他を整理し、施設の運営に支障の無いようにすること。

４．　受注者は、工事に必要な仮設物その他について、工事現場の秩序を維持し火災、盗難及び労働災害等の事故防止に万全を期すこと。

５．　受注者は、工事に先立ち、施工内の工事箇所等を十分に把握すること。

６．　受注者は、工事施工中損傷を与えるおそれのある箇所に対しては、防護その他適当な措置をし、工事完了後原形に復旧すること。

７．　受注者は、工事にあたり法律及びその他関係法令等を遵守すること。

８．　使用する全ての建材は、石綿を原材料として使用していないものを使用し、工事打合簿等に記録すること。

９．　社内の安全訓練においては、写真及び記録簿を提出すること。

１０．受注者は、工事看板を契約後 30 日以内かつ工事着手前までに、環境事業センター入口付近及び現場に設置すること。

※合わせて工程表、建設業許可票、労災保険関係成立票、施工体系図、建設業退職金共済制度、再生資源利用（促進）計画書の標識を掲示すること。

１１．受注者は、次の書類を提出すること。

（１）施工計画書｛2 部（1 部返却）｝

※契約後速やかに かつ 工事着手前までに提出・承諾を受けること。

①工事概要

●工事名称、工事場所、工期、請負者、発注者、請負金額、工事内容

②計画工程表

※必要に応じ、週間又は月間工程表、工種別工程表を提出すること。

③現場組織表

●工事作業所災害防止協議会兼施工体系図

●施工体制台帳、再下請通知書

※組織に変更があった場合は再提出すること。

④安全管理

●安全衛生管理計画、安全教育、現場仮設計画、予想される災害・公害対策　等

●緊急時の連絡体制表　　●緊急時の業務分担表　　●防火管理組織編成表

⑤指定機械（契約金額 500 万円以上の工事のみ）

⑥メーカーリスト

⑦施工方法

●工種別施工計画書または施工要領書

⑧施工管理計画

●工程管理、品質管理、写真管理、発生材管理　等

⑨交通管理

⑩環境対策（契約金額 500 万円以上の工事のみ）

⑪現場作業環境の整備（契約金額 500 万円以上の工事のみ）

⑫検査計画

●使用材料の試験、社内検査、竣工試験　等

⑬建設副産物処理計画

●ＣＯＢＲＩＳ（再生資源利用（促進）計画書）

⑭産業廃棄物運搬業者、処分業者との契約書・許可証及び運搬経路

⑮作業員名簿

着工に先立ち、本工事に必要となる資格を作業員名簿に記載すること。

⑯建設業退職金共済制度（契約金額 500 万円以上の工事のみ）

●建退共 様式２号(建設業退職金共済証紙購入状況報告書)

※建退共 様式１号(建設業退職金共済関係提出書）、３号(建設業退職金共済証紙貼付実績報告書）については竣工時に提出すること。

⑰工事カルテ（契約金額 500 万円以上の工事のみ）

工事実績情報（CORINS）「（財）日本建設情報総合センター」に基づき「工事カルテ」を作成し、担当者の確認を受けた後に前記センターへ契約時・変更時及び完了時に提出し、工事カルテ受領書の写しを提出すること。提出期限は下記を厳守すること。

契約時　受注時登録データの提出期限は、契約締結後１０日以内

変更時　受注時登録データに内容変更があった日から１０日以内

完了時　完了時登録データの提出期限は、工事完成後１０日以内

（２）工事使用材料検査申請書（1 部）

使用材料については、監督員の検査を事前に受けること。

（３）承諾図｛承諾図 2 部（1 部返却）｝

施工及び器材発注前に提出し、監督員の承諾を受けること。

（４）施工図（1 部）

工事の施工に際し、関連工事と取り合いのある部分や、設計図書に詳細な施工が記載されていない部分について提出し、監督員の承諾を受けること。

（５）工事打合記録簿｛2 部（1 部返却）｝

監督員の指示及び協議した事項について記録し、提出すること。

（６）工事履行報告書（工期が 90 日以上の場合のみ）

月ごとの予定工程及び実施工程の出来高（％）を翌月の 10 日までに提出すること。

（７）新規入場者安全教育等の記録

受注者は、新規入場者安全教育、危険予知活動及び安全巡視点検等を実施し記録すること。

（８）完成図書（Ａ４ファイル　2 部）

①工事概要

②竣工図

③メーカーリスト

④試験結果成績書

⑤品質管理資料（契約金額 500 万円以上の工事のみ）

●メーカー試験、規格証明、出荷証明等、ノンアスベスト証明書　等

⑥実施工程表

⑦社内検査記録届（契約金額 500 万円以上の工事のみ）

工事完成後、目的物が契約図書に定めたとおり完成しているかどうか自ら検査（社内検査）を実施し、社内検査記録届を添付すること。

⑧産業廃棄物管理票（マニフェスト）の写し（Ａ票、Ｂ２票、Ｄ票、Ｅ票）

※完成検査時に建設廃棄物マニフェストは原本の確認も行う。

⑨その他必要となる書類

※詳細については、監督員の指示による。

（９）工事写真（２部）

※工事の進捗状況を工種別、工程ごとに撮影すること。現場に掲げる各種看板類等の掲示物についても写真記録すること。

※工事完了後に不可視となる部分、安全対策等についても撮影すること。

特 記 仕 様 書

1．　工事概要

本工事は、小田原市清掃工場に設置してある４号炉バグフィルターのろ布交換工事です。

施工完了後、排ガスの有害物質がバグフィルターろ布から漏れないように丁寧に施工すること。

リテーナについては再使用すること。また、施工後のろ布プレコートについての計画を行い、記録（時間、薬品量等）すること。ろ布プレコートのための機械運転については、当センターの運転員で行うものとし、使用する薬品については支給品とする。

施工中に、ケーシング等の腐食、破損、変形等が確認された場合は、監督員に報告すること。補修が必要と判断した場合には、日程を協議し、本市により補修作業を行うものとする。

2．　材料の仕様について

①　（1）ろ布仕様

下記の規格を満たすろ布を使用すること。

材質			基布：ガラス基布 パット：PTFE（茶）
厚さ（mm）			1.2±0.3
目付（g／㎡）			700±70
通気度（㎤／㎠／sec）			16±5
引張強度 (daN/5cm)	たて	切断強度	150 以上
	よこ	切断強度	170 以上
破裂強度（kPa）			4000 以上
ホットストレッチ（%）			2.0 以下　（240℃×60 分）
最大耐熱温度			260℃
寸法			φ164×6020±10mm

その他

1） ろ布の原反、縫製場所は、日本国内の工場とし、ろ布製作時は、口元のはめ合い検査を行うこと。

2） ろ布の納入時までに原反証明書、出荷証明書及び試験成績書を提出すること。

（2）ろ布使用条件（参考）

使用時間	300 日／年×24H
焼却量	15,000～25,000ｔ／年
焼却温度	900～950℃
排ガス温度	バグフィルター入口約 190℃
ガス量（乾き）	約 18,300 ㎥ N／ｈ以下

② 点検口用パッキン仕様

名称	材質	寸法	枚数
天井内蓋用	ノンアスベスト	1500㎜×2560㎜×30w×3ｔ（ボルト穴φ12）	2枚
天井内蓋用	ノンアスベスト	1290㎜×2560㎜×30w×3ｔ（ボルト穴φ12）	2枚
天井上蓋用	シリコンスポンジ	1555㎜×2600㎜×25w×15ｔ	2枚
天井上蓋用	シリコンスポンジ	1340㎜×2600㎜×25w×15t	2枚
天井上部小蓋用	ノンアスベスト	560㎜×560㎜×3t（ボルト穴φ12×20箇所）	2枚
ホッパー内蓋用	ノンアスベスト	φ560㎜×φ500×30w（ボルト穴φ12×20箇所）	1枚
ホッパー外蓋用	シリコンスポンジ	φ680㎜×φ590×45w×5t	2枚

3． 法定外の労災保険の付保

受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するため、法定外の労災保険に付さなければならない。

なお、保険契約を締結したときは、現場施工に着手する前までに、確認書類（証券の写し等）を監督員に提示すること。

４．　暴露防止対策について

本工事においては「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱」に基づき作業を実施すること。

①　保護具（労働安全衛生規則第592条の5に定めるところによる）の着用

②　エアーシャワーの設置（圧縮空気について支給）

③　作業場の養生

５．　処分について

撤去したろ布及びパッキンについては、法律に遵守し、処分すること。